

# 東浦町の公共交通と あなたの外出についてのワークショップ 説明資料

名古屋大学大学院環境学研究科 大野悠貴

# ワークショップのねらい

## ◆町民の方の意見聴取の場

- 日常のおでかけ先の把握
- 「う・ら・ら」に対する町民の方の考え（良い点・改善点）を把握

## ◆参加した方に「学び」や「気づき」が与えられるような生涯学習の場

- 「う・ら・ら」は、より使ってもらう段階（アンケート調査と同様）
- ただ意見を聞いて終わりにせず、参加者1人1人が自分なりに、「う・ら・ら」をより使うために何ができるか？を見つけてもらう
  - ▶ 講演会・シンポジウムのように受け身ではなく、能動的な「学び」や「気づき」が得られるような手法を用いる

# ワークショップのコンセプト

---

- ◆ 「う・ら・ら」を日々の暮らしに“ちょい足し”してもらおう
- ◆ “ちょい足し” = 自分なりの「う・ら・ら」とのかかわり方
  - 自分が利用する機会をつくる、周囲の人が利用する機会をつくる、利用しやすい環境をつくる、等
    - ▶ “ちょい足し”レシピ
- ◆ 3回のワークショップを通して、参加者1人1人に自分らしい「う・ら・ら」の“ちょい足し”レシピを見つけていただく

# 1回目：本当に大事なおでかけは何？（1）

- ① 3～4人のグループで話し合う
- ② 大きな地図を用意し、「今おでかけしているところ」にピンを置いていただく
  - 店舗・施設名、手段、おでかけの目的を別途付箋に書いてもらう
  - 買い物、通院、習い事、など、3回程度は会場全員で一緒に考えてピンを置いていき、その後フリーで置いてもらう



▶ 日常のおでかけ先の把握

## 1回目：本当に大事なおでかけは何？（2）

「通販や宅配サービスがあれば、買い物に出かける必要がない」  
「オンライン診療が普及すれば、病院に行く必要がない」

だけど・・・

「あえて」「わざわざ」おでかけしたいところはどこですか？

車が運転できなくても（家族にお願いしてでも）、でかけたいところはどこですか？

# 1回目：本当に大事なおでかけは何？（3）

---

- ③ 地図に置いたピンから、「あえて・わざわざおでかけしたいところ」「車が運転できなくなっても、でかけたいところ」以外のピンを外す
- ④ 残ったピンについて、そこにでかける「目的」や、なぜ残したのか？について、グループで発表し合う
- ⑤ 「どうしておでかけするのか？」「どんなおでかけがしたいのか？」自分にとってのおでかけの大切さを、参加者1人1人に再認識してもらう
  - ピンが残らなかった場合、「家にいるだけでは得られないこと」を考えていただき、おでかけの大切さを再認識してもらう

# 個人フィールドワーク

	子ども景観探検団 景観シート
	きになる 景観 名前:
写真:	
	
写真をとった場所:	酒屋
撮影文 (なぜこの写真をとったのか? どう思ったのか?):	これは、酒屋で見つけました。このイグチクした物を、アップしてとりました。わたしは、なんでこのようなるいものがあるのかふしぎにおもいました。
タイトル:	おいしいきな粉

- ① 1回目の最後に、「う・ら・ら」のお試し乗車券と、記入用紙を配布
- ② 2回目までに、実際に「う・ら・ら」に乗っていただき、「良いところ」「危険なところ」「気になるところ」の3分類で記入してもらおう
  - 写真がある場合、役場に送付してもらえば、2回目までに印刷して用意
  - 可能なら自由参加で乗車体験会を行う

## 2回目：「う・ら・ら」の良いところ、 危険なところ、気になるところ



① 個人フィールドワークで気づいた点をグループで発表し合う

② 「う・ら・ら」の「良いところ」「危険なところ」「気になるところ」をまとめ、会場全体で共有する

▶ 「う・ら・ら」の良い点・改善点を把握

## 2回目後半（3回目へのつなぎ）

### ① 他地域の“ちょい足し”レシピを紹介

### ② 私の“ちょい足し”レシピを考えてきてもらおう（宿題）

- 自分が大切にしたいおでかけをする“ちょい足し” ← 1回目
  - 良いところを伸ばす・利用する“ちょい足し”
  - 悪いところを良くするための“ちょい足し”
  - 気になるところをどうにかするための“ちょい足し”
- .....等

## 3回目：私の暮らしに「う・ら・ら」を “ちょい足し”してみよう！

- ① 自分や周囲の人の暮らしに「う・ら・ら」を  
“ちょい足し”するためのレシピを考える
- ② “ちょい足し”レシピをグループで発表する
- ③ 会場全体で共有
  - 他の人のレシピも見てもらい、良いと思ったレシピに投票するなど、少しイベント的な要素を加える
  - ワークショップの成果として、可能なレシピは公開する

## (補足)

### ◆「う・ら・ら」だけを対象としていることについて

- 参加者の多くが公共交通非利用者であることが想定されるため、いきなりすべての公共交通を対象にせず、まずは東浦町の公共交通軸である「う・ら・ら」から考えていただくのが適切
  - ▶参加者の中で「う・ら・ら」ヘビーユーザーがいた場合は、その方はすべての公共交通に対象を広げて、2回目・3回目に参加していただくなど、柔軟に対応する

### ◆その他の意見収集について

- 意見記入用紙を1回目に配布し、2回目・3回目に回収することで、本ワークショップで取り上げられなかった点は捕捉する